

患者さんから寄稿をいただきましたのでご紹介します

今回は、今年 8 月 20 日 21 日に夫と一緒に
行った、高野山 1 泊 2 日の旅のご報告をさ
せていただきます。

京都駅から近鉄特急を乗り継いで吉野口
へ。そして JR で高野口まで行き、ここで
予約しておいた貸切タクシーに乗車しまし
た。通常でしたら、JR 橋本から南海電車
で極楽橋まで行き、ケーブルに乗り換えて
高野山まで行くところですが、私が集めて
いる『神仏霊場』の御朱印帳には、高野山
までに『慈恵院』『丹生官省符神社』『丹生
都比売神社』の 3 か所の寺社があり、しか
も交通の便が悪いのでタクシーに乗るこ
とにしました。どの寺社も手入れが行き届き、
段階には手すりがあり、洋式トイレもあり
ました。さて、タクシーで高野山の中心部
まで乗せてもらい、取り敢えずは昼食です。
ここはもちろん精進料理ですよ。観光案
内所の近くの食堂で食べました。



そして高野山と言えば、金剛峯寺です。



土産物店の並ぶ道を歩いて 5 分程で着きま
した。

夏休み中でしたが、思った程混んでいません
でした。



金剛峯寺の入口です。奥へ進みます。



本堂です。右に回り込むと堂内に入る入口
になります。靴を脱いで上がるのですが、
こんな時は「ああ、上履き持って来たらよ
かった」と後悔します。お寺の廊下は足の
裏が痛いですが、特に濡れ縁は (>_<) つい
ついで早歩きになってしまいます。

所で、靴を脱いで上がった所に車椅子が何
台か置かれていたのですが、何とお堂の中が
完全バリアフリーになっていて、段差はすべ
てスロープが設置されているのには驚きまし
た。

その上、障害者手帳で付き添いも含めて無料
でした。これは高野山の全ての寺社、美術館
でも同じだそうです、感激しました。



石庭もあります。またお茶の御接待もあり、のんびりと過ごせました。

本堂を出て道路を渡り、壇上伽藍に向かいますが、ここでは何と言っても、大塔の大きさに圧倒されます。



一緒に写っている人の大きさと比べていただいたら分かると思います。塔内は大日如来を中心とした立体曼荼羅となっています。大塔の他に、金堂、東塔、西塔、御影堂、経堂など、たくさんの建物があります。さて、今日の宿泊は、宿坊です。

そちらに向かうことにします。



『西禅院』の玄関です。

泊まるお部屋は、この左側の新しい二階建ての建物にありました。トイレお風呂は共同でしたが、洋式トイレもありました。



お待ちかねの夕食はもちろん精進料理です。正座が出来ないので、低い椅子をお願いしたら、お膳もかさ上げして下さいました。

お味もとても美味しかったです。

宿坊の特徴は、朝のおつとめです。早起きして、参加したのですが、本堂の中は薄暗くて天井に隙間なく灯籠が下がっています。真言密教の特徴のようです。

高野山の他のお寺も同じでした。参加者 40 人中半分以上が外国人の方たちでした。

朝食後に宿を出発して、路線バスで奥の院に向かいました。



奥の院には、弘法大師空海の御廟があります。ここから 1 キロ歩かないと行けませんが、この門の近くに車椅子を貸してくれる所があります。



参道の両側には、織田信長、豊臣家、明智光秀はじめ各藩の大名、会社関係、戦没者、そしてもちろん個人の方々のお墓や供養塔が、途切れなく続きます。御廟に着くと、今日は 21 日だったので、空海上人の法要の最中でした。護摩が焚かれ、10 人程

のお坊さんが、読経されていて巡礼姿の多くの信者さんが手を合わせておられました。

私たちは、別の参道から、また色々な方の供養塔を巡りながらバス停に出て、ケーブルで戻りました。（寄稿者：布川 佳子さん）

引き続きみなさまの寄稿をお待ちしております。

リウマチセンターアドレス
ra-ju@takedahp.or.jp

